

生涯派遣のまま 残業代ゼロで



労働者の生活は大変なことだ!

安倍首相は、財界の要請にこたえ「世界で一番企業が活動しやすい国」にするために、労働法制の大改悪を狙っています。「生涯派遣」となる労働者派遣の恒常化、残業代を払わずに済む裁量労働制の拡大など、このことは、すべての労働者に関わり、日本経済と社会のあり方に関わる重大な問題です。大阪では、民法協、連合大阪法曹団・大阪労働者弁護団を含む在阪法律家8団体共同開催集会として、「STOP!! 派遣法の大改悪」集会が開催されるなど労働組合だけでなく多くの府民の反対の声が広がってきています。



▲5月22日は労働者の権利侵害を許すなど、
争議支援総行動が
◀「生涯ハケン、残業代ゼロ」の文字に注目

安倍「雇用改革」の労働者派遣法改悪・残業代ゼロ法案などは、格差と貧困を拡大する大元となった規制緩和そのものです。大阪労連は、労働法制大改悪強行を、断じて許さない立場でたたかいをすすめています。そもそも、派遣労働は「一時的、臨時的」が原則。年越し派遣村が示したように、「派遣」は不安定な働きかたのため限



2014憲法記念の日といったら 3000人を超える参加

5月3日の憲法記念日に9条の会・おおさかが呼びかけた「つどい」には3000人以上が参加。記念講演や府内各地・職場などの「9条の会」の活動交流が行われました。記念講演では、ジャーナリストの鳥越俊太郎さんから安倍暴走政治への批判が語られ、「戦争したい勢力と国民の綱引き。共にたたかっていきたい。できる限りのことをやろう」と呼びかけられ、大きな拍手がわきあがりました。大阪労連は「かがやけ憲法署名」をすすめています。職場のすべての仲間から集めきり、憲法破壊に突き進む安倍暴走政権に突きつけていきましょう。

また、「残業代ゼロ」法案は成果主義・裁量労働制が前提となり、企業が残業代を払わなくてもよくするだけでなく、「労働時間」の管理を労働者の権利と人権を侵すために押し付ける。大阪労連は、いまだでもサービスマンが横行し、過労死が社会問題になっているのに、こんなものが許されれば、日本中がブラック企業だらけになってしまいます。また、「派遣法改悪」は、労働者派遣法改悪を許さない緊急集会! 2014年5月27日

国労大阪会館を
研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

天満でとどけ

▼消費税が増税される時に、いつも社会保障の充実のためと宣伝され、今回も総額12・6億円も血税が使われた。しかし、実際には年金、介護、医療など次々と改悪されている。国民に8兆円の負担増を強いておきながら、社会保障の充実には回らない。5000億円。安倍暴走政権のもと、憲法25条がどんどん崩壊されている。大阪市でも生活保護行政で、独自作成した「保護申請時におけるガイドライン」を法律の上において給付決定を出さない事態が恒常化している。国も地方自治体も本来の役割を投げ捨てている。憲法を輝かせ、誰もが人として生きる権利が保障される当たり前の社会へ、力を合わせていこう。